

富山県知事

石 井 隆 一 様

要 望 書

平成 29 年 8 月 22 日

富山県 P T A 連合会

要 望 書

平素より、小中学校教育の振興につきまして格別のご高配を賜り、また、P T A活動に深いご理解とご協力をいただいていること、厚く御礼申し上げます。

私たち富山県P T A連合会は、「子供は、家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」の基本理念の下、子供たちの健やかな成長とP T A活動の発展を推進するという目的を忘れることなく活動に取り組んで参りました。今後も子供たちに起こる様々な問題に対応するために、また教育環境の一層の充実を図るためにも、貴職をはじめ富山県教育委員会や本県教育に携わる皆様とともに積極的に取り組んで参る所存でございます。

さて、富山県における今後の中学校卒業予定者数が平成30年度には1万人を割り込み、以後急速に減少していくと予想されることから、高校再編に向けた議論が高まってきております。子供たちにとってよい教育環境を整えることは保護者の責務であり、子供たちが恵まれた環境の中で教育を受けられることは私たちP T A全ての変わらぬ願いです。

つきましては、富山県の将来を担う子供たちのために、次の要望事項について格別のご高配をいただきますようお願い申し上げます。

平成29年8月22日

富山県PTA連合会

会 長 水谷 千万夫

要 望 事 項

- 1 社会の変化と生徒のニーズに対応した高校再編
- 2 バランスのよい学校配置や教員配置ならびに通学に対する支援
- 3 豊かな教育活動のための学校規模の確保ならびに小規模校における教育環境の整備

要望の概要説明

1 社会の変化と生徒のニーズに対応した高校再編

ネットワーク社会の進展によるグローバル化や高度情報化、少子・高齢化と、広範かつ急速に社会が変化し、教育を取り巻く環境は大きく変わってきています。変化の激しい社会に対応するため、これからの子供たちには、基礎的・基本的な知識・技能のもと、それらを活用して本質を見極める思考力や現状を打開するための判断力や表現力、主体的に学習に取り組む態度等が求められます。さらにこの先、大学入学者選抜改革が予定され、生徒や保護者が高校教育に求めるものも大きく変化しようとしています。

今後、本県中学校卒業予定者数が急速に減少すると予想される中、子供たちが十分な選択肢の中から魅力と活力のある学校や学科を選ぶことができ、大学進学や専門学校進学、就職等の進路希望を実現できるような高校再編を要望します。

2 バランスのよい学校配置や教員配置ならびに通学に対する支援

高校再編を進めるのであれば、生徒の多様な進路希望を実現するための指導体制と学習環境を充実したものにし、また、スポーツや芸術、理数探求、外国語等、特定分野に対する関心・意欲が高く能力や適正のある生徒が専門的な知識や技能を身に付けられるような学校配置や教員配置となることが望ましいと考えます。

通学圏域は現在の4学区を基本とし、どの学区内においても子供たちが希望進路に応じて学校や学科を選択できるよう、バランスのよい学校配置を要望します。また、適正な教員の配置と教員一人一人のさらなる資質向上を願います。

生徒数の減少に伴う学校数の減少があり、やむを得ず生徒の通学圏が広がる場合、登下校時の安全、冬季降雪時の通学手段、通学費用の増加による経済的負担、長時間移動による心身の疲労のための学習効率の低下等、通学に対する不安が大きくなります。このような理由で高校教育を受ける機会や選択が制限されることのないよう、安全な通学手段の確保や通学費用の助成等についての十分な支援を要望します。

3 豊かな教育活動のための学校規模の確保ならびに小規模校における教育環境の整備

社会につながる前段階としての高校の役割を考えた時、生徒が一定数の集団の中で学校生活を通じて社会性や協調性を育むような経験を積むことが必要であると考えます。また、生徒の進路希望に対応した教育課程の編成や生徒の興味・関心に応じた多様な部活動の設置等、魅力と活力のある教育活動を展開するためにも、学校の規模は1学年4～8学級程度が望ましいと考えます。

高校再編により1学年3学級以下の小規模校が配置された場合、生徒一人一人に対応したきめ細やかな指導が期待される一方で、教職員定数によって生徒の科目選択の幅が狭くなる等、多様な進路希望への対応や教育の質の確保の面で制約があると聞いております。そうした課題に対応し、小規模校においても豊かな教育活動が保障される体制や学習環境の整備を要望します。